

# 学校だより

令和2年10月発行  
金沢高等学校

## 授業公開に向けて《いしかわ教育ウィーク》

石川県では、教育について県民全体で考える気運を盛り上げる契機として、11月1日を「いしかわ教育の日」とし、また、教育の日にふさわしい取り組みを集中的に展開する期間として、11月1日から7日までを「いしかわ教育ウィーク」と定める条例を平成17年3月に制定しました。

本校では、「いしかわ教育ウィーク」の期間中、11月2日(月)・4日(水)・5日(木)・6日(金)の4日間の日程で授業公開を行います。保護者の皆様方は、普段、生徒がどのような授業を受けているか、授業態度はどのようなかを実際にご覧になっていただきたいと思います。

授業というのは教師が中心となって組み立てていくものです。また、当然ながら授業内容に責任を持つのも教師です。しかし、学習の主人公は生徒であり、そういった意味では、授業は教師と生徒が共につくるものです。教師が一方向的に「わかる授業」を目指して努力しても、生徒がその授業のねらいを理解し、主体的に参加しなければ「わかる授業」にはなりません。生徒の皆さんも積極的に授業に取り組み、自分自身も授業をつくる一人であるという意識を持つことが大切です。

この「いしかわ教育ウィーク」の授業公開を機に、教師も生徒も共に授業の評価結果や問題点、改善の方向性を明らかにすることで、授業改善が行われ、学校全体の発展に繋がると考えます。

(教頭 島畑 博之)

### 【生徒指導より】

#### ～衣替えについて～

11月2日(月)より冬服への衣替えとなります。

『衣替え』とは暑さ・寒さの変わり目に、季節にあった衣服に着替える慣習のことです。単に衣服を季節に合わせるだけでなく、季節や年月の移り変わりを感じることで、我が身の在り方について考える機会としての意味合いもあります。



この慣習は遠く遡ること平安時代の宮中行事に始まると言われていました。さらには江戸・明治・大正・昭和という激動の時代の中において衣替えは寒暖調節の実用性のみならず、文化的役割と社会の統一感を生み出す『行事』になってきました。

現代社会では、温暖化や個性重視の風潮、衣服選びの多様化などの影響により、『衣替え』の代表格は学校や会社などの『制服』となりました。衣服の変化だけでなく、引き出しやクローゼットなども整理することで次の季節に対し、心新たな再出発を切ることができるのではないでしょうか？

『衣替え』により、制服の着こなしを再確認するとともに高校生活の目標に対する自分の立ち位置などを再認識し、新たなスタートをきってもらいたいと思います。



### 【図書室より】

#### “ラストページまで 駆け抜けて”

#### 〈第74回読書週間標語〉

2020『読書週間』10/27～11/9

電子メディアの発達で情報伝達の流れは大きく変わってきていますが、「本」から伝わるぬくもりや著者からの発信、思いは何ものにも代え難く読み手の心に残るのではないのでしょうか。これからの時代はそれぞれの良さをうまく取り入れて、新しい感覚での「本とのつきあい方」ができると良いと思います。



さて、図書室では学校行事や年中行事、話題のテーマなど様々な展示を行っています。『進路に役立つ本コーナー』では小論文対策や勉強の仕方、仕事に関する本を、またコロナ禍の中、“感染症を読む”と題して歴史や現状、未来の生き方や社会を考える本を展示しています。

その他、【新着図書リスト】の発行、本の表紙を廊下に掲示、閲覧室ではスクリーンセーバーの機能を使って本の紹介など、皆さんに情報発信をしています。

